

■ 見ごろ迎え桜の下で花見 ■



桜の花がそろそろ見ごろの2日、ヒューマン・ハウスの中庭で「お花見会」が開かれました。会場の道路沿いには7本の桜が植えられ、日を追うごとに美しさを増してきました。春の陽気に誘われて、入所利用者約50人が参加しました。ラジオ体操や「青い山脈」の体操で体をほぐし、いよいよメインイベントのハーモニカの演奏。職員とボランティアの女性の2人が、ハーモニカの演奏を披露しました。ボランティアさんはハーモニカ歴10年のベテランで、大正琴も弾き、ヒューマンハウスで演奏したこともあると話していました。2人は「さくら さくら」や「おぼろ月夜」、「明日があるさ」などのおなじみの曲を演奏しました。アンコールの声もかかり、最後は甘酒を味わいながら「荒城の月」の演奏を楽しみました。

